

時が重なる場所を訪ねる

歴史ろまん帖

街を歩けばそこかしこで、ふと目を引くレトロなものたち。地域の、歴史ろまんへの入口を、ほんの少しご紹介いたします。

「ろまん・ROMAN・ROMAN・浪漫」長編小説、情緒的な物語、などの意

明治の歴史まめ知識

明治維新とは、日本を近代的な国にしようとして明治政府が行った改革や、改革で起きた社会の変化のことです。今年、二〇一八年は明治維新一五〇周年の年で、全国でイベントが開催されています。

たまたた地域は〇〇県だった？

明治維新が成立した一八六八年以降、日本には「廃藩置県」によって府と県が置かれることになりました。小平市、東大和市、東村山市、武蔵村山市は、葦山県または品川県という県の一部になりました。その後すぐに今度は神奈川県に移り、のちに東京府（現在の東京都）に移るとい、激動の歴史があるのです。

たまたた地域の明治をもっと学べるイベント

<p>ミニ展示 「村山の明治」</p> <p>太平洋戦争中の武蔵村山について紹介</p> <p>日時 開催中～2019年3月31日(日) 9:00～17:00</p> <p>会場 武蔵村山市立歴史民俗資料館分館 (武蔵村山市大南 3-5-7)</p> <p>主催 武蔵村山市立歴史民俗資料館</p> <p>問合せ 042-560-6620</p>	<p>公開講座 「明治維新 150 年をたどる」</p> <p>自由民権運動に関わる場所を訪ねるほか、企画展の見学など</p> <p>日時 9月29日(土) 13:00～</p> <p>場所 武蔵大和駅集合で現地案内</p> <p>主催・案内 東大和観光ガイドの会</p> <p>協賛 東大和市産業振興課</p> <p>問合せ 042-563-2111 (同市産業振興課 内線 1074)</p>	<p>公開講座 「多摩で一番古い結社・衆楽会と多摩地域の結社活動」</p> <p>日時 9月21日(金) 14:00～</p> <p>会場 東大和市立上北台公民館 301号室</p> <p>講師 町田自由民権資料館 学芸委員 松崎稔先生</p> <p>主催 自主サークル おとなの社会科</p> <p>問合せ 090-4025-3811 (柴田)</p>
--	---	--



① 圓乗院
こんな時代に触れられます・・・平安・鎌倉

1159 (平治元) 年を始祖とする記録が残っています。ひっそりとした佇まいながら、1749 (寛延2) 年に建てられた、梵鐘のかかった山門 (鐘楼門) や仁王像は見応えがあり、心静かに時代を感じることが出来ます。

住所 東大和市狭山 3-1354
電話 042-561-3044

明治5年には、日本最初の近代的学校制度「学制」が公布されて、お寺や神社の中に小学校ができていきました。東大和市にできた小学校やその移り変わりについて、地域情報誌『もっと東やまと』で詳しく解説しています。同誌について、詳しくは裏表紙の「たまたたニュース」をご覧ください。

⑨ 徳蔵寺
こんな時代に触れられます・・・鎌倉 - 室町

1560 (永禄3) 年建立。1333 (元弘3) 年、新田義貞が鎌倉を攻めた際に戦死した飽間高藤一族の供養塔の石碑 (国指定重要文化財) が保存されています。板碑保存館では石器、土器なども展示されています。

住所 東村山市蔵訪町 1-26-3 電話 042-391-1603
板碑保存館 開館時間: 9:00～17:00 (月曜休館)
拝観料: 大人 (高校生以上) 200円、子ども 100円
※東京文化財ウィーク期間中は拝観料無料 (11月頃)

⑧ 正福寺地蔵堂
こんな時代に触れられます・・・室町

1407 (応永14) 年建立。国宝に指定されている木造建造物です。地蔵堂内には1000体を超える小地蔵が奉納されています。鎌倉幕府の執権北条時宗が鷹狩りの際病気になる、夢で地蔵菩薩からもらった丸薬で病が治ったことから地蔵堂を建立したといわれています。

住所 東村山市野口町 4-6-1 正福寺境内
電話 042-391-0460

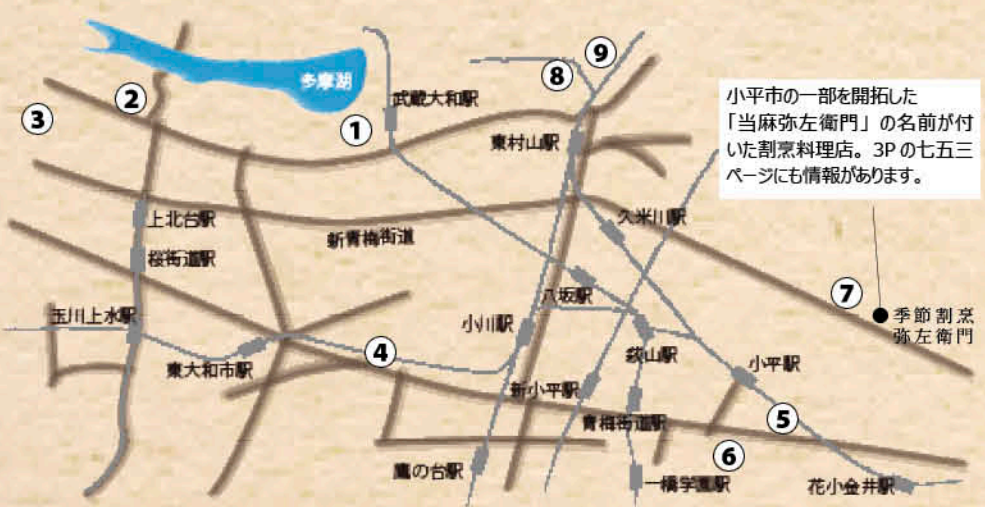
写真提供: アルキニスト倶楽部 (8Pの広告もご覧ください)

正福寺地蔵堂内公開予定 (年3回)
9月24日 11:00～15:00
11月3日 10:00～16:00
(今年8月8日は終了)

② 豊鹿嶋神社
こんな時代に触れられます・・・室町

707 (慶雲4) 年創建といわれています。本殿は都内に現存する最古・唯一の室町時代の神社様式建築。東京都の有形文化財に指定されています。市指定文化財の木製狛犬・獅子頭も見ることが出来ます。

住所 東大和市芋窪 1-2067 電話 042-561-2858



⑦ ガスミュージアム
こんな時代に触れられます・・・明治 - 昭和

明治時代からのガス器具をはじめとした、約350点を見学できます。赤レンガがロマンチックな「ガス灯館」「くらし館」は明治時代に建てられた東京ガスの関連施設を移設復元した建物。ガスライトガーデンのガス灯は、浜離宮や横浜のほかパリやロンドンなど、国内外で実際に使われていたものです。

住所 小平市大沼町 4-31-25 電話 042-342-1715
開館時間 10:00～17:00 (月曜、年末年始 休館)

ガス灯のともったガスミュージアムの夜景 ▶

明治錦絵「横浜郵便局開業之図」

③ 村山織物協同組合
こんな時代に触れられます・・・大正 - 昭和

1928 (昭和3) 年に建てられた事務所は市指定文化財。館内には織物資料室があり、東京都の指定無形文化財になっている村山大島紬の着物や織機が見学できるほか、村山大島紬の小物やハギレが購入でき、歴史に直に触れられます。

住所 武蔵村山市本町 2-2-1
電話 042-560-0031

④ 小平神明宮
こんな時代に触れられます・・・江戸

1656 (明暦2) 年鎮座。当時の小平市は「逃げ水の里」といわれるほど水が乏しかったのですが、その開発のために移住した人々が土地の守り神として、おまつりしました。境内外社合わせて12社15座の神々がまつられ、地域の人々から「しんめいさま」と親しまれています。

住所 小平市小川町 1-2573 電話 042-341-0407 (3Pの七五三ページにも情報があります)

⑤ 小平ふるさと村
こんな時代に触れられます・・・江戸 - 明治

敷地内の旧小平小川郵便局舎は1908 (明治41) 年に建築された。境内に立つ「武蔵野の一本榎」(現在あるのは樹齢100年の孫木) は、かつて荒野だったこの土地を行き来する人々の目印でした。また「夫婦榎」と呼ばれる樹齢約300年の2本のケヤキが寄り添って繁っており、参拝すると夫婦円満になるといわれています。

住所 小平市天神町 3-9-1 電話 042-345-8155
開園時間 10:00～16:00 (月曜日、第3火曜日、休日の翌日、年末年始)

⑥ 熊野宮
こんな時代に触れられます・・・江戸

1704年 (宝永元年) 創建。小川新田の開発にあたり、守り神としてまつられました。境内に立つ「武蔵野の一本榎」(現在あるのは樹齢100年の孫木) は、かつて荒野だったこの土地を行き来する人々の目印でした。また「夫婦榎」と呼ばれる樹齢約300年の2本のケヤキが寄り添って繁っており、参拝すると夫婦円満になるといわれています。

住所 小平市仲町 361 電話 042-344-0638 (3Pの七五三ページにも情報があります)

